



湯河原ロータリークラブ WEEKLY REPORT



2019年9月6日(金) 天気: 晴れ

例会 第2778回 合唱: 君が代 それでこそロータリー 四つのテスト

会長 平間 章弘
幹事 室伏 学

事務所: 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会内
TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716
例会場: ニューウェルシティ湯河原 静岡県熱海市泉 107
TEL 0465(63)3721 FAX 0465(63)6401
例会日: 毎週金曜日 12:30~13:30

会長挨拶

9月は識字率向上月間です。そのため、地域社会で基本的教育を普及し、識字能力を高めるためのプログラムを支援致します。例えば、地域社会への参加を促進することや、成人識字率の向上を目指すこと、また、教育における男女格差を減らすための活動を行うことが挙げられます。さらに、基本的教育や、識字率向上に関連した専門職業人を目指す人のための奨学支援を強調する月間でもあります。

世界には学校に通っていない6歳~17歳の子どもが2億6,300万人です。これは、先進国の子どもの総人口である、2億4,500万人より多い数字です。この数字は様々な技術が進んでいる現代社会にもかかわらず、2012年以降横ばいのままとなっています。また、読み書きができない成人が7億8,100万人います。低所得国のすべての子どもが識字力を身につけて、学業を終えれば、推定1億7,100万人が貧困から解放されるといわれており、世界の貧困率の12%が低減されると考えられています。基本的教育と識字率の向上は、地域社会の発展を導き、争いのない世界を実現するには欠かせない要素です。貧しさによる負のスパイラルからの脱出の第一歩として。

当クラブは、今後ともロータリーの奉仕活動を支援していきたいと思っております。

幹事報告

国際ロータリー日本事務局より

1. 9月のロータリーレート 1ドル106円

ガバナーより

1. ガバナーノミニー選出の件
指名委員会が構成されました。
2. 2022~2023年度ガバナー・ノミニー候補者提案に関する告知
地区指名委員会より推薦の要請が届きました。候補者の提案は11月29日(木)12時までにガバナー事務所に提出して下さい。
3. 豪雨による北九州被害地への義援金協力依頼
1人当たり500円以上をお願い致します。

連絡事項 無し

出席報告	ゲスト 1名 ビジター 0名	会員 24名
	欠席 7名(免除者 0名)	前回の修正出席率 87.50%
	出席率 70.83%	前々回の修正出席率 87.50%

事前メイクアップ 0名

ゲスト: 野村證券(株)小田原支店 宮里洋介様

会員誕生日 深澤昌光君 (9/1)
 入会記念日 佐藤友彦君
 (3年・平成28年8月5日)
 入会記念日 杉山茂久君
 (31年・昭和63年9月2日)
 入会記念日 石田浩二君
 (8年・平成23年9月2日)
 平間章弘君・佐東文介君・室伏学君
 先週ガバナー訪問日が皆様のおかげで無事終わ
 りました。ありがとうございます。

卓話：石川 博君

ゲスト：野村證券(株)小田原支店 宮里洋介様

「世界経済の現状」

昨年引き続き、本日は歴史ある湯河原ロータリークラブのメンバーの皆様の前で、卓話をさせて頂く機会を頂戴し誠に有難うございます。

昨年、私はこの場で【世界経済の課題】と題しまして、①移民問題②ポピュリズムの台頭③広がる経済格差④人手不足という4つの観点でお話をさせて頂きました。世界経済が突きつけられている課題は山積みで、どれも構造的な問題であり、一筋縄ではいかないのが現状です。そして、世界景気は今年も拡大基調を辿ると予想していますが、成長ペースは来年以降、鈍化することが予想されているとお話をさせて頂きました。令和という新時代になっても、米中問題・イギリス離脱問題・中東の核問題・日韓問題など課題は山積みのままです。一方で、技術進歩と経済のグローバル化の間には常に密接な関係があります。現在の混とんとしている世界は、実は次の新しい世界の入口にあるのではないとも言えるのかもしれませんが。

本日は、世界が抱えている課題のお話をさせて頂くと暗くなってしまうので、それよりも、令和という新時代ですので、すぐそばに来ている未来技術についての明るいお話をさせて頂ければと思います。

【MaaS Mobility as a Service】

MaaSとは、単一の交通サービスだけでなく、鉄道やタクシー、カーシェアリングといった全ての交通サービスを統合し、スマートフォン(アプリ)を通じてルート検索、予約、決済機能を持たせ、マイカー以上の移動サービスをユーザーに提供する概念です。自動運転実用化を前提に、様々な産業が関わることで、MaaSの市場規模は2035年に8,000億ドル、2050年には7兆ドルになると半導体大手のインテルが予測しています。

MaaSを導入するメリットとしては、利用者の利便性向上はもちろん、都市部での渋滞緩和や地方でのマイカーに依存しない交通サービスの構築などが挙げられます。MaaSは、発祥の地フィンランドを始め、海外での導入が先行していますが、日本でも自動車メーカーや鉄道各社などが実証実験を開始しています。

【5G(第5世代移動通信システム)】

5Gとは、超高速・大容量、超低遅延、多数同時接続を実現する次世代の通信技術です。近年、スマートフォンなどで高画質動画が視聴できるようになったことで、データ通信量が急増し、通信環境の改善が求められています。5Gでは、1世代前の4Gと比べて通信速度が約100倍向上します。

5Gでは、これまで以上に広い周波数帯域の電波が活用されます。高周波数帯の電波は遠くまで届きにくいいため、小型基地局であるスモールセルを大量に設置するなど新たな設備投資が必要になります。4Gでは個人のスマホ利用が主体でしたが、5GではIoTを活用した新しいサービスも創出されます。企業にとっても今後ビジネスチャンスが広がっていきます。

【まとめ】

現在の不確実性の高い世界は、次の新しい世界の入口にあると考えるともしかしたら今起こっている問題・課題は必然なのかもしれません。このような変化の時は、いつの時代も新しい主役が誕生してきています。時代の変化を肌で感じられる、またとない機会チャンスであると捉えることが出来ると思います。

